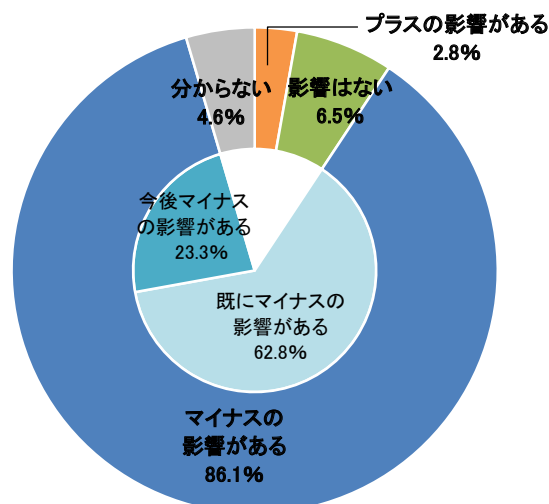
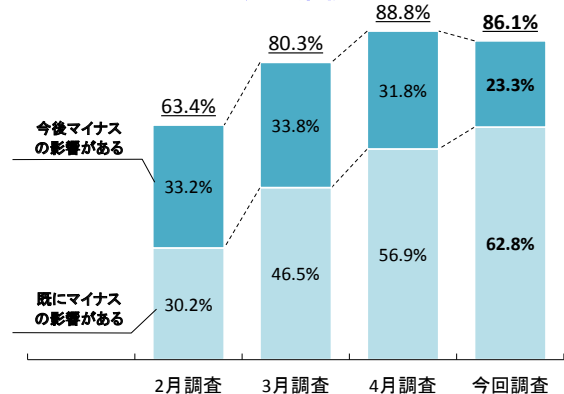


特別企画：＜速報＞新型コロナウイルス感染症に対する企業の意識調査（2020年5月）

業績へ既にマイナスの影響がある企業、初めて6割台に上昇
～ 今後マイナスの影響を見込む企業は23.3%に減少～

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、国民の生活および経済活動は依然として深刻な状態が続いている。一方で、「緊急事態宣言」が約50日ぶりに全都道府県で解除されるなど、日本の社会は「ポストコロナ」に向けて徐々に動き始めた。そこで、帝国データバンクは、新型コロナウイルス感染症に対する企業の見解について調査を実施した。本調査は、TDB景気動向調査2020年5月調査とともに行った。
- ※ 調査期間は2020年5月18日～31日、調査対象は全国2万3,675社で、有効回答企業数は1万1,979社（回答率50.6%）。なお、新型コロナウイルス感染症に関する調査は、2020年2月以降毎月実施し、4回目

新型コロナウイルス感染症による業績への影響

業績に『マイナスの影響がある』割合
～ 月次推移～

注1: 母数は、有効回答企業1万1,979社。2020年4月調査は1万1,961社、同年3月調査は1万1,330社、同年2月調査は1万704社

注2: 下線の値は『マイナスの影響がある』（「既にマイナスの影響がある」と「今後マイナスの影響がある」の合計）の割合

注3: 小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも一致しない

調査結果（要旨）

1. 新型コロナウイルス感染症による自社の業績への影響、『マイナスの影響がある』と見込む企業は86.1%。前回調査（88.8%）と比較すると2.7ポイント減少した。内訳をみると、「既にマイナスの影響がある」が62.8%、「今後マイナスの影響がある」が23.3%となった
2. 「影響はない」とする企業は6.5%だったほか、『プラスの影響がある』（「既にプラスの影響がある」と「今後プラスの影響がある」の合計）と見込む企業は2.8%となった
3. 『マイナスの影響がある』を月次で見ると、4月調査でピークに達し、今回調査では調査開始以降初めて減少に転じた。また、「既にマイナスの影響がある」については、依然として増加傾向にあり、今回調査では過去最高の6割超となった

【 内容に関する問い合わせ先 】

株式会社帝国データバンク データソリューション企画部 産業データ分析課

担当：池田 直紀（080-4900-8758）、旭 海太郎（080-4899-2468）

TEL 03-5775-3163 e-mail keiki@mail.tdb.co.jp

リリース資料以外の集計・分析については、お問い合わせ下さい（一部有料の場合もございます）。

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。